

バイク駐車場の整備・運営に関わる皆様へ

2011/02/8

**「バイクパーキングありがとう&
これからもよろしくミーティング」
開催報告書**

山下剛（発起人）
clubman819@gmail.com

ミーティングの趣旨

まだまだ解決とはいかない『バイク駐車問題』ですが、都内のバイク駐車場の数もずいぶんと増えてきました。そのおかげで違法駐車をせずに済み、都内を移動するバイクユーザーにとって一時期と比べればずいぶんと状況は良くなりました。そこで私たちバイクユーザーは、都内を中心にバイク駐車場を整備してくれた行政をはじめとして、民間駐車場運営者の方々に対して、**「お礼」のキモチを表したい**と考えました。それが『バイクパーキングありがとう&これからもよろしくミーティング』です。

ミーティングの目的

バイク用駐車場の整備を進めている各団体に対して、「ありがとう、そしてこれからもお願いします」という気持ちを表すために私たちがとった行動は、**東京・表参道にあるバイク用パーキング・チケットを満車にする**ことです。本来ならば東京都内すべて（いいえ、もっといえば全国の！）のバイク用駐車場を満車にしたいところですが、実現するのは困難です。そこでバイク用駐車場の代表として、表参道バイク用パーキング・チケットを選びました。

ミーティングの告知と参加人数

ミーティングの趣旨や内容を記したウェブサイトを用意し、おもにツイッターを使ってイベントの告知を行いました。イベントの趣旨に賛同したバイクユーザーがミクシーなどの SNS（コミュニティツール）を使い、さらにイベント告知を広めました。事前にウェブサイトに参加表明してくれたバイクユーザーは 16 名でした。当日、表参道バイク用パーキング・チケットに駐車した台数は 24 台、参加したのは 26 名（2 名は趣旨に賛同したもののバイクなしでの参加）となりました。残念ながら満車にすることはできませんでしたが、これは今後も継続することで達成したいと考えています。

ミーティングの様子

開催日：2011年2月6日（日曜日）

時間：13時～14時30分

場所：東京都港区北青山3丁目 表参道バイク用パーキング・チケット

参加人数：26名

天候：くもり

イベント開始1時間前、東京・表参道のバイク用パーキング・チケットの利用者は2～3台でした。60分100円へと手数料改訂が行われて1週間でしたが、まだ認知度が低いのかもしれません。

イベント開始時刻が近づくごとにバイクが一台、また一台と集まりはじめました。30分前には8台、15分前には15台と数が増えていき、13時をまわった頃には20台以上のバイクがパーキング・チケットを利用して駐車をしていました。その後もバイクユーザーが集まってきましたが、残念ながら34台分のパーキング・チケットを満車状態にすることはできませんでした。

それでも最大で24台のバイクが駐車をしている光景は、パーキング・チケット運用開始から1年のなかで初めてのことだったのではないのでしょうか。時間超過や不正利用を監視している現場担当者も「こんなのは初めてだ」と話していました。

今回のイベントでは、シュプレヒコールやパレードといったいわゆるデモ行動は行いませんでした。またメッセージボードを掲げることもしていません。

これは、「満車にする」ことでそのメッセージとするためです。



24台のバイクが集まった表参道バイク用パーキング・チケットの様子。原宿に向かって駐車したもので車道反対側にもおよそ10台のバイクが駐車しました。(2011年2月6日、13時30分頃＝中島みなみ撮影)



原宿方面に向かう車線の駐車枠に停められたバイク。残念ながら「満車」にはなりませんでした。(2011年2月6日、13時15分頃＝山下剛撮影)

パーキング・チケットの利用にあたっては「ここにあるのを初めて知った」というユーザーをはじめとして、「あるのは知っていたが使うのは初めて」というユーザーも多く見られました。チケット購入方法について戸惑うユーザーもいましたが、ナンバーを入力することで不正利用を防ぐシステムになっていることを知ると、あらためて感心する姿も見られました。

2月より手数料改訂が実施され、60分300円だった手数料が60分100円になったことについては、「気軽に利用できる」とほとんどのユーザーが満足している様子でした。しかし「1時間以上止められるととっても便利」という声も少なからず聞こえました。

イベントは駐車時間上限である1時間で終了の予定でしたが、ここで知り合った新しい出会いもあり、パーキング・チケットを新たに発行し、近隣のカフェなどで親交を深める姿も見られました。バイクパーキングが新たな人間関係を構築することができる、という新しい力を目の当たりにできたのです。

今回の参加者のなかには、都内やその近郊地域在住者だけではなく、遠く長野県や群馬県、バイクで町おこしをしていることで知られる埼玉・小鹿野町からやってきたバイクユーザーもいました。バイク駐車問題は都市部に顕著なこともあり、地方在住者にはその問題点が見えにくいという側面がありますが、こうして地方からの参加者があったということは問題意識の共有化という大きな意味を持ちました。

バイク用駐車場を整備している関係者に、お礼の気持ちを示したい。それがこのイベントの発端です。これは一度やっただけでは意味が半減するものですから、今後も継続して実施していこうと考えています。次回は3月下旬から4月上旬にかけての実施を検討中です。



埼玉、群馬、長野からの参加もあり、バイク駐車問題がバイクユーザー全体の問題であることを再認識しました。



青山方面に向かう車線の駐車枠にもおよそ10台のバイクが駐車をしました(写真右)。また清掃用具を持参し、周辺の清掃奉仕活動をした参加者もみられました(写真左)。

イベントの周知など

発起人である山下剛はバイク雑誌編集を仕事としていることもあり、「BMW BIKES」（株式会社バイクプロス刊、3月15日発売）をはじめとしたバイク雑誌にこのイベントの様態を記事として掲載する予定です。

当日は「タンデムスタイル」（株式会社クレタ、2月24日発売）、「レスポンス自動車ニュース」（四輪二輪系インターネット情報サイト、随時更新）、「ニフティ・バイクライフ」（バイク情報サイト、随時更新）、二輪業界誌「モーターサイクルインフォメーション」（青峰社、月1回発行）などのバイク雑誌の記者が取材に訪れました。これらの媒体に順次掲載され、「ありがとう」のメッセージを広くアピールします。

また、参加者の個人ブログにもすでに掲載されており、バイク駐車場関係者に向けた「ありがとう」のメッセージは広く世間に伝わっていることと思います。※別紙参照

◎参考ブログ

『By-Q BLOG』（2月7日付）<http://6rinlife.blogspot.com/2011/02/blog-post.html?sref=tw>

『6輪生活なブログ（2×3）』（2月7日付）<http://www.by-q.co.jp/blog/2011/02/post-28.html>

今後について

前述しましたが、「ありがとう」のメッセージを伝えるイベントを継続して実施していこうと考えています。

しばらくは表参道バイク用パーキング・チケットを満車にしようという目的を持って実施しますが、民間駐車場運営者の許可さえいただければどこにでも出向いて「満車・感謝・ありがとう」のメッセージを伝えたいと考えています。

「うちも満車にしてほしい」といったご要望をはじめ、このイベントにご興味を持たれた駐車場管理者の方がいらっしゃいましたら、発起人・山下剛までご一報ください。連絡先は当報告書の一枚目にあります。

これまでの皆様のご尽力に感謝をしております。ありがとうございました。

そして、これからのご活躍にも期待しております。よろしくお願いいたします。

参考資料①

すでにインターネットに掲載された、当日の様様を伝えるブログとニュース。



『By-Q BLOG』(2月7日付)



『6輪生活なブログ (2x3)』(2月7日付)

参考資料②

表参道の二輪Pチケットを埋めるイベント---過去最高の利用
2011年2月7日(月) 23時30分

6日、東京都内唯一のパーキングチケットで駐車スペースを満車にして二輪車駐車整備の促進を訴えようというイベントが、表参道二輪車パーキングチケット(港区北青山3)で開催された。

設置された34台すべてを埋め尽くすことはできなかったが、呼びかけに応じたユーザーらが24台分を埋めた。駐車制限時間の1時間、約160mの道路隅がオートバイで埋まった。

また、専門誌や日本自動車工業会の広報誌など取材関係者が、その様子を見守り、一時は30人以上が歩道にあふれた。

「100円にしても、(ほとんど)利用率は変わらない」と、不正使用に目を光らせていた監視員も続々と集まってくる車両に「一度にこれだけ利用されるのは初めて」と、驚いていた。

バイク・ミーティングを呼びかけた雑誌編集者の山下剛さん(40)は「この結果を警視庁など関係団体に報告し、駐車場整備促進のきっかけにしたい」と話している。

『レスポンス自動車ニュース』(2月8日付)